

2015年 UWWルール変更について

(公財) 日本レスリング協会
審判委員会

グレコローマンスタイルルールの変更について

***全ての年代の変更点は以下のとおりとする、**

- 1) 全ての反則は「○+2」とする。
 - * 頭突き・平手打ち・全ての脚を使う反則（攻撃者・防御者共）
シングレットを掴む行為・指を絡める行為等（禁止事項）
攻撃者の反則は1回目注意し、2回目は ○+2とする。
 - * 場外逃避・技術回避はダイレクトに○+2とする。
 - * パーテレポジションのフライング（上・下の選手共）
 - * スタンドの反則はスタンドからグラウンドの反則はパーテレからスタート。

- 2) 大技の投げの5点は継続。

- 3) スタンドからダイレクトのデンジャーは4点。
パーテレからリフトでのダイレクトデンジャーは4点

- 4) スタンドからのデンジャーにならない投げ技は2点（コレクトホールド）
パーテレからリフトのデンジャーポジションにならない場合は2点

- 5) 場外に1足でた場合は従来通り、1Pとする。しかし攻撃選手が技をかけて1足でた場合はペナルティはなしとする。
 - *押し出しはNo Point
 - *攻撃者は1足出たあとの技は有効とする。
 - *攻撃者は2足出たあとの技は無効とする。（No Point・No Penalty）

- 6) パーテレの反則について
 - *パーテレでの防御者は両手を開いて守らなければならない。
 - *防御レスラーが攻撃レスラーのホールドを防ぐために肘を身体に近づけたり（脇を締める）肘や膝・脚を閉じることをしてはならない。
違反するレスラーに対し、口頭注意が与えられ従わない場合、または再度行った場合は○+2点が与えられ再度、パーテレから再会する。

- 7) 全てのガッツレンチは2点とする。（回数に制限なし）
 - *攻撃者が肩をついた場合（オートツッシュ）は1-2とする。

シニア階級の変更点について

- 1) オーダードパーテレの継続（○でなくPを与える）
 - 1回目 試合を止めずに明確な口頭注意（Pマーク）
 - 2回目 試合を止め、Pを与え上・下の選択
 - 3回目 試合を止め、P + 1を与え上・下の選択
 - 3回目以降 P + 1を与え上・下の選択を行う。

* 0 - 0 の場合は4分30秒以内にどちらかのレスラーに3回目の注意を与え1点を成立させなければならない。

その他の年齢グループの変更

（スクールボーイ・カデット・ジュニア・U23）

- 1) オーダードパーテレの廃止
 - 1回目 試合を止めず口頭注意（レマーク）
 - 2回目 試合を止めずPを与える。
 - 3回目 試合と止めずP + 1を与える。
 - 4回目 試合を止めずPを与える
 - 5回目 試合を止めずP + 1を与える。

* 2回目のPで相手に1点を与えるが試合は中断しない。

追記

- * チャレンジのVTRをみる審判員は
審判長（インストラクター）
ジュリー（スーパーバイザー）
マットチャーマンの3名とする。

* ポイントはジュリーが提示し、プラスポイントはマットチャーマンが提示する。

* 以上の変更点は、5月13日より実施するものとする。